

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 1 回 岩舟地域会議
開催日時	平成 27 年 5 月 12 日 10 時 00 分 開会 11 時 34 分 閉会
開催場所	岩舟総合支所 会議室棟 第 3 会議室
出席者氏名	小倉久緒、川島卓郎、佐山耕基、高久厚子、田中正太郎、寺内正市、寺澤登美子、松井梅代、三ツ森紀子、天下井祐子、安藤芳雄、海老沼一利、渡辺仁一、金澤眞義、齋藤栄吉、栃木孝 以上 16 名
欠席者氏名	
事務局職員職氏名	総合支所長 大島純一、地域まちづくり課長 三柴 浩一、課長補佐 岩崎充、主査 小松原雅人、主事 竹山仁人 以上 5 名
その他出席者等	
会議事項	
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
担当課長	1. 開 会 2. 支所長あいさつ 3. 自己紹介 4. 会長及び副会長の選出について
担当課長	選出方法について意見を求める
A 委員	指名による選出でいかがか？ 異議なしの声あり。指名による選出とする。
B 委員	会長に渡辺委員、副会長に安藤委員を推したい。 異議なしの声あり。会長に渡辺委員、副会長に安藤委員を選出する。
会長	渡辺会長あいさつ
副会長	安藤副会長あいさつ
会長	本日の会議については公開とする。会議録については要旨としてまとめ、議事録署名人を指名せず公開する。以上決定する。
事務局	5. 議 事 (1) 新たな地域自治制度について <説明> 資料に基づいて説明する。 <質問>
B 委員	地域予算提案制度の予算の執行期間については 1 年間か。
事務局	計画は複数年もありえるが、今回示された予算については 1 年間で執行するものである。

A 委員	昨年準備をしていた小野寺北地区は認定実働組織になりうるのか、小野寺北地区は認定を受けたか、今後の行政の方向性はどのようなものか。
事務局	条件を満たせば認定実働組織になりうるものである。現在認定は受けていない。行政の方向性は区域が定まらないこともあり白紙である。1年交代の自治会長を中心とした組織化は難しいので2年以上の任期がある区長中心という考えも視野に入れつつ、地域会議の中で方向性を出していければと考える。
副会長	自治会長の任期を2年にできないか？自治会長の集まりである自治会連合会が地域のことを一番理解していると思う。
事務局	任意組織の自治会について行政は強制できないので、任期も決められない。
C 委員	自治会長の現状として、業務が広範囲にわたり業務量も多いという声が一般的である。合併によりさらに業務量が増えているように感じる。
D 委員	青少年育成町民会議という団体の組織化に携わった。組織化には関係者の様々な意見を取り入れながら1年半を要した。認定実働組織の組織化という意味で参考にしてほしい。
会長	他に質問がないので、新たな地域自治制度について了解した。
	(2) 年間活動予定について
	<説明>
事務局	資料に基づいて説明する。
	<質問>
A 委員	「ふれあいトーク」についての要望も「地域予算提案制度」となりうるか。
事務局	ふれあいトークの要望が岩舟全域の事を考えた要望であれば可能性はある。
D 委員	平成26年度地域協議会の意見書を今後の事業を検討するうえでの参考資料としてはどうか？
会長	よい考えと思うので、本日全委員にお配りしたい。 他に質問がないので、年間活動予定について了解した。
	(3) 部会について
	<説明>
事務局	資料に基づいて説明する。
	<質問>
E 委員	希望を聞いたうえで、部会の班分けをしてはどうか？
事務局	希望がある委員には5月中にご連絡をいただき、それを踏まえ次回の地域会議に部会の班分け案を示す。
会長	他に質問がないので、部会について了解した。
	(4) 今後の会議開催日時について
	<説明>
事務局	資料に基づいて説明する。
会長	他に質問がないので、資料のとおり開催することについて了解した。
	6. その他
	7. 閉会